

菊池と遠野のルーツ

遠野と菊池のつながりは、同一の民が菊池にも遠野にもきつた時代からのものであろうか。たのではありませんか。

遠野の新谷家(代々「新谷番所」を守る役人の家)の家系図によれば、「第16代菊池武政のころまでは、肥後の守とあり、松千代貞頼自殺の項、幼稚の末子を乳母へ養育を頼み城中より落ち行く」とある。

つまり、菊池一族の一部が落ち延びて遠野に土着したのが、始まりであるという。

落ち延びていくのに何も知らない遠くの土地に、いきなり行くわけがない。もっと古い時代からのつながりがあったはずである。それは、何だったのだろうか。

調べていたら、菊池と遠野に共通する点がいくつかあった。その①菊池と遠野は、大昔は、どちらも湖であった。

弥生時代の暮開けのころは、どちらもフグという水草の生い茂る湿地帯であった。

水稲栽培の技術を携えて渡来してきた人々が開拓に適する土地を求めたとすれば、菊池も遠野も理想的な土地であったろう。海上の道を通じて同じころ

人権同和教育シリーズ⑥ 菊池北中学校3年 水上彩香

す。想像しただけで恐ろしいです。「差別は人を殺す」と聞いた事がありますが、その通りだと思いません。例え、どんなに病気がひどくても、軽べつするよな目では絶対に見たくないと思います。人は周りからの悪口や軽べつなどを受けると見た目以上に傷つき、ひどい場合は死んでしまうかもしれません。人権学習を受けてきた中で、講話をして頂いた皆さんは本当に強いと思います。私は自分の過去を話す事は恥ずかしいし、特に嫌な思い出は絶対に話したくありません。でも、講演された人々は涙を流しながら話されました。辛い思い出ばかりなのに、それを踏みこむような事件が今でも起きています。最近では「黒川温泉事件」です。思い出づくりにと、計画された企画が一瞬でなくなっていました。元患者さんたちも辛くて立ち直れなかったと思います。これだけ世の中、人権学習などを行っているのに、菊池恵楓園の歴史資料館には当時の手紙やFAXが展示してありました。ひどい事ばかり書いてあり、私は最後まで読めませんでした。「死ぬね」「病気がうつるから病人は来るな」「お前らが温泉に入る

私は3年間で「水俣病学習」「全国水俣病」「ハンセン病」等の人権問題について、しっかりと学ぶ事ができました。

私たち3年生は、6月に「ハンセン病」の学習で菊池恵楓園へ行きました。元患者さんが入所されていて、病院や文化会館、スーパーマーケットなどがある事を知り驚きました。事前授業を受けていた時は暗くて、何もない所だと思っていました。でも実際は皆さんと楽しく過ごしていました。しかし、阿部智子さんのお話を聞くと私は恥ずかしくなりました。「楽しく過ごされていた」のは、現在の話だったからです。昔は監視の目がひどく壁に近づいただけで「監禁室」に連れて行かれ、罰を受けなければならなかったそうです。何よりもひどいと思ったのが、赤ちゃんに対してでした。話を聞いた時は涙が出そうになりました。せつかく授かった命なのにおろさなくてはならないし、赤ちゃんを産んだら目の前で殺されてしまったそうです。

資格はない」など人権侵害の限界を超えていました。でも、悪い手紙ばかりではありません。「負けずに頑張ってください」「私たちは皆さんの味方です」など元患者さんの励みになる言葉がたくさんかけてありました。私はその手紙を読んで、「こういう人間になりたい、ならなければ」と強く思いました。

私は今まで友だちがいじめられていても、いじめている人たちを注意できませんでした。「みんながしているから」「自分までいじめられたくないから」など自分中心の考えがあったからです。でも、自分自身の行動を振り返ってみると「ハンセン病の元患者さんに手紙を送りつける事と同じじゃないか」と思いました。いじめは人生の全てを変えてしまいます。私自身、いじめは大嫌いなので、自分から注意のできる強い人間になりたいです。

これまでたくさんの方が傷つき、亡くなられてきた人々の事を知りました。自分で考えた事、感じた事、そして多くの人々の思いを伝える側になれるよう頑張りたいです。

3年間の人権学習を生かしていきます。

シリーズ菊池遺産⑨

問い合わせ先
企画振興課

☎0968(25)7250

菊之池城(深川館)跡

別名を菊池古城・深川城・雲上城といい、大宰府の府官であった藤原則隆が延久2年に館を構えた所で、城としての備えを持っていたと考えられています。当時の交通手段は舟運に頼っていましたが、堤防がなかったときの自然の流れでは、この辺りが舟着場だったと思われています。周囲の地形は、この右岸を要とした穀倉地帯が扇状に広がっており、舟着場のある対岸の赤星荘も一族の支配地でした。この城は守りの城としては適していないことから、南北朝の騒乱期には、山城の機能を備えた隈府の守山城が菊池氏の本城となりました。



認定番号 第特別 H21-11号
推薦者 深川区

菊之池跡

深川の河岸段丘の下に、隈府扇状地の豊かな湧水地がありま

した。この池が菊の花の形に似ていたことから、菊之池と呼ばれ、ここから菊池の地名が起ったと言われています。また、池の周りに菊花が咲き乱れていたので、菊之池と呼ばれたとも伝えられています。



認定番号 第特別 H21-12号
推薦者 深川区

菊池氏初代則隆公墓所 並びに頼宮

大宰府将監だった菊池則隆は、延久2年に深川に居館し、菊池城を構えました。深川は、菊池平野の東部に位置し、かつ菊池川舟運の発着地点でした。また菊之池は、土塁と堀壕で囲まれた広い屋敷を持つ館で、後に守山城に移るまで、この居館を中心に営々として領内の開発に努め、さらに菊池氏歴代が南朝方に味方した拠点でした。則隆は永保元年に死亡し、深川村上原

に葬られたとされ、その墓(五輪塔)は文化15年につくられ、明治・大正と3回の工事を経て、現在に至っています。



認定番号 第特別 H21-13号
推薦者 深川区

妙蓮寺観音堂

泗水平野区にある妙蓮寺は、合志33箇所(31番札所)です。平安時代に開山され、江戸時代初期に日蓮宗の日円和尚により再興し、その後隈府町に移転したと伝えられています。本尊の聖観音立像は、室町時代の作であり、像高は約80cmで、2箇所(2箇所)に墨書の銘があります。また韋駄天像、毘沙門天像が祀られています。



認定番号 第特別 H21-14号
推薦者 平野区

韓国発見シリーズ⑦ 17回目は「韓国の年末年始の風景」

について紹介します。

韓国は、旧暦の正月(平成23年は2月3日)を正月とし、前後3日間を祝日として祝う。今も伝統的な祝日は旧暦を尊重するからだ。それで新年の1月1日は会社などにより違いはあるが、普通の祝日として静かに1日だけが休みになる。

年末や大晦日は除夜の鐘などを含め、多様なイベントが行われる。年賀状を送る習慣は日本と同じだが、はがきで送ることはほとんどなく封書にする。店で売る年賀状は封筒がセットになっている。韓国はまた、12月25日のクリスマスが祝日となっており、この日には宗教に関係なくクリスマスカードを送る人が多い。

年末は「郵便大乱」と言われるほど郵便物が溢れる。年賀状は日本のように元日に届くのではなく年末から到着し始める。むしろ元日に届くほうが良い。しかし時間的余裕を持って年賀状やカードを出すという点は日本と同じだ。

若い世代にはEカードが人気を呼んでいる。光回線を利用し、画像だけでなく、動画と音楽

ファイルなどを添付して送ったりする。無料でカードを提供しているサイトから気に入るカードを選択しメッセージを書き、送信すれば良い。

年末が近づく放送局や新聞社、慈善団体では募金運動を展開する。特に「救世軍」による「慈善の鍋」募金運動は冬の名物として有名だ。韓国の3大放送局のMBC・KBS・SBSでは列を作って寄付する人々やそれに参加する芸能人などの姿を放送する。政界や市民団体などもこの寄付活動に参加する。また、利益の一部を募金として出す企業もある。

さらに、各テレビ局ではARSという方法で寄付を集めている。テレビ画面隅にARS電話番号が表示され、その番号に電話をかければ1,000、2,000ウォン(約100、200円)が自動で電話料金に加算され募金をしたことになる。年末年始は過ぎ去った1年を振り返り、家族や親族・友人・隣人を思う時間になりたい。



菊池市役所
国際観光マネージャー
金 相廷さん